

平成28年度進行管理・評価シート
長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
（最終変更平成28年3月31日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1	歴史的風致の維持及び向上に向けた連携 並びに推進体制	1
---	-------------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1	長野市景観計画との連携	2
2	長野市屋外広告物条例との連携	3
3	長野市伝統環境保存条例との連携	4

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1	無形文化財支援事業	5
2	歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	6
3	善光寺周辺地域道路美装化事業	7
4	善光寺周辺地域電線類地中化事業	8
5	善光寺経蔵保存修理事業	9
6	善光寺表参道地域交流拠点整備事業	10
7	景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域)	11
8	弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	12
9	善光寺本堂耐震補強事業	13
10	戸隠茅場整備事業	14
11	歴史的風致形成建造物修理助成事業	15
12	松代地域道路美装化事業	16
13	伝統環境保存事業	17
14	旧横田家住宅保存整備事業	18
15	旧文武学校保存整備事業	19
16	松代町文化財保存活用推進事業	20
17	旧松代駅舎保存活用事業	21
18	松代城東側駐車場整備事業	22
19	北国街道松代道 周辺文化財等周遊道路整備事業	23
20	史跡大室古墳群保存整備事業	24
21	旧信濃川田駅保存活用事業	25
22	松代歴史文化の発信・誘客事業	26
23	県宝大英寺本堂保存修理事業	27
24	川田宿PR活用事業	28
25	史跡松代城跡保存整備事業	29
26	県宝長国寺開山堂保存修理事業	30
27	県宝林正寺本堂保存修理事業	31
28	大室古墳群アクセス道路整備事業	32
29	「彫工北村喜代松」制作の 屋台等保存・公開活用事業	33
30	鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業	34

31 松巖寺経蔵保存修理事業	35
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理 (活用)計画等)について	36
2 文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について	37
3 文化財の防災に関する取り組みについて	38
4 文化財の周辺環境の整備について	39
5 文化財の保存及び活用の普及、啓発について	40
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 重伝建の選定を目指す 長野・戸隠地区 ほか	41
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 善光寺仁王門前の歩行者通行量の増加	43
2 第2回長野市歴史まちづくりシンポジウム 「戸隠の未来を拓くまちづくり」の開催	44
□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2-1)		
(1) 歴史的建造物の保全と活用	45
(2) 伝統技術の継承	48
(3) 歴史的まちなみと周辺環境の保全	49
(4) 伝統的な祭礼等の継承	52
(5) 文化財や伝統的な祭礼	53
(6) 歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究	55
□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3-1)		
① 善光寺周辺地域道路美装化事業	56
② 旧文武学校保存整備事業	57
③ 「彫工北村喜代松」制作の 屋台等保存・公開活用事業	58
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	59

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------	--	---

①歴史的風致の維持及び向上を目的とした庁内全体の連携体制を構築するために、関係各課の担当者によって構成される「歴史まちづくり推進会議」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。
 ②歴史まちづくり法第11条に基づき、有識者等で構成される「長野市歴史的風致維持向上協議会」を、計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して、様々な提案・意見等を得ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①計画事業の関係部局を対象に「歴史まちづくり推進会議」を2回開催した。会議において各事業の進捗状況の確認及び事業実施に向けて解消すべき課題を共有し、庁内全体の連携体制を強化することができた。
 ②「長野市歴史的風致維持向上協議会」を2回開催し、計画事業の進行管理・評価及び計画変更案などについて協議し、計画内容、事業に対して幅広く意見をいただいた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

- ①歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催
 第1回 平成28年12月1日(木)
 議題 (1) 計画の概要について
 (2) 計画事業と課題について
 (3) 計画の新規事業と他市町の事例について
 (4) 計画の進行管理・進捗評価について



第1回(H28.12.1)

- 第2回 平成29年1月27日(金)
 議題 (1) 計画の進行管理・進捗評価について
 (2) 歴史的風致形成建造物の指定解除について
 (3) 弥栄神社の御祭礼に関する祭礼屋台等の状況調査について
 (4) 計画の変更について
 (5) 今後の予定について

- ②長野市歴史的風致維持向上協議会の開催
 第1回 平成28年8月9日(火)
 議題 (1) 平成28年度の計画事業について
 (2) 計画の進行管理・評価の実施について



第1回(H28.8.9)

- 第2回 平成29年2月17日(金)
 議題 (1) 計画の進行管理・進捗評価について
 (2) 歴史的風致形成建造物の指定解除について
 (3) 弥栄神社の御祭礼に関する祭礼屋台等の状況調査について
 (4) 計画の変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
長野市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載 している内容	<重点区域> ○善光寺周辺 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上のために、景観計画と連携しながら、景観計画上の重点地区に設定するなど、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観の誘導を検討していく。 ○戸隠 本計画において、戸隠五社や中社・宝光社の宿坊を中心とした独特の集落を含む一帯が重点区域に設定されたことから、今後は、この重点区域内を対象に、より詳細な景観の誘導を行うための検討を行っていく。 ○松代 重点区域内の特徴的なまちなみを活かすためにも、地域の特性に応じた景観形成基準の設定等を検討していく。
-----------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画担当部局と連携協議を3回実施した。歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。
 平成19年に策定した「長野市景観計画」に基づき、対象となる規模の新築・増築・改築等について届出義務を課し、高さや彩色等について誘導している。
 重点区域内の景観計画に基づく行為の届出件数
 ○平成28年度実績:善光寺・戸隠地区 2件、松代・若穂川田地区 0件、鬼無里地区 0件 計2件

進捗状況 ※計画年次との対応 <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等

景観計画担当部局と連携協議を実施

第1回 平成28年8月2日(火)

協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 戸隠地区における関連計画について

第2回 平成28年12月14日(水)

協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 善光寺周辺地区及び松代地区における関連計画について

第3回 平成29年2月20日(月)


協議内容 (1) 長野市景観計画の改定状況について



景観計画担当部局と連携協議
第1回(H28.8.2)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
長野市屋外広告物条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	〈重点区域〉 ○善光寺周辺 長野市屋外広告物条例では、歴史的な景観を有する地区等で、よりきめ細やかな景観の規制誘導を図るために、特別地区制度を設けている。今後、重点区域内においては、景観計画と連携しながら、よりきめの細かい地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。 ○戸隠 広範囲にわたって妙高戸隠連山国立公園戸隠地域戸隠管理計画区に指定され、屋外広告物の掲出についても一定の規制が設けられているが、宝光社地区の一部には、国立公園による規制と屋外広告物条例による規制のどちらにもかかっていない部分があり、善光寺門前の規制とともに、よりきめの細かい規制地区の導入について検討していく。 ○松代 重点区域内については、善光寺周辺と同様に、景観計画と連携しながら、特別規制地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
屋外広告物担当部局と連携協議を2回実施した。歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。 平成18年改正施行の「長野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を設置する際に、設置地区の規制区分及び屋外広告物の表示面積に応じて届出義務を課し、誘導している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
屋外広告物担当部局と連携協議を実施 第1回 平成28年8月2日(火) 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について (2) 戸隠地区における関連計画について 第2回 平成28年12月14日(水) 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について (2) 善光寺周辺地区及び松代地区における関連計画について			
		屋外広告物担当部局と連携協議 第2回(H28.12.14)	

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度
	平成28年度 現在の状況
長野市伝統環境保存条例との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

松代城下町の歴史のかつ文化的な遺産としての伝統環境を保存し、次世代の市民に継承することを目的として、昭和58年(1983)3月に「長野市伝統環境保存条例」が制定されている。条例では、松代町四町(表柴町、代官町、馬場町、竹山町)を伝統環境保存区域として指定し、区域内の保存に関する保存計画を策定している。保存区域内で建築物(主屋、土蔵、門、塀など)、庭園その他の工作物の新築、増改築などを行う場合に、市へ届け出ることが必要であり、これにより、城下町の良好な景観形成を図っている。伝統環境保存区域の全域が本計画の重点区域内に含まれることから、引き続き条例に基づいて伝統環境の保存に努めていくとともに、都市計画や景観計画と連携しながら、周囲に広がる歴史的景観との調和についても検討し、さらなる歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

届出への審査指導や伝統環境の保全に寄与する建築物・工作物等保全へ補助することで、城下町の良好な景観形成と保全に繋がっている。

届出件数 平成28年度実績:5件 補助制度 評価軸③-13参照

補助制度を活用して歴史的まちなみに寄与する建物等を保全維持している所有者は、地元団体の松代地区中心市街地活性化協議会の「街なみ景観賞」として表彰されるなど、まちなみ保存に対する地域住民の意識向上にも役立っている。

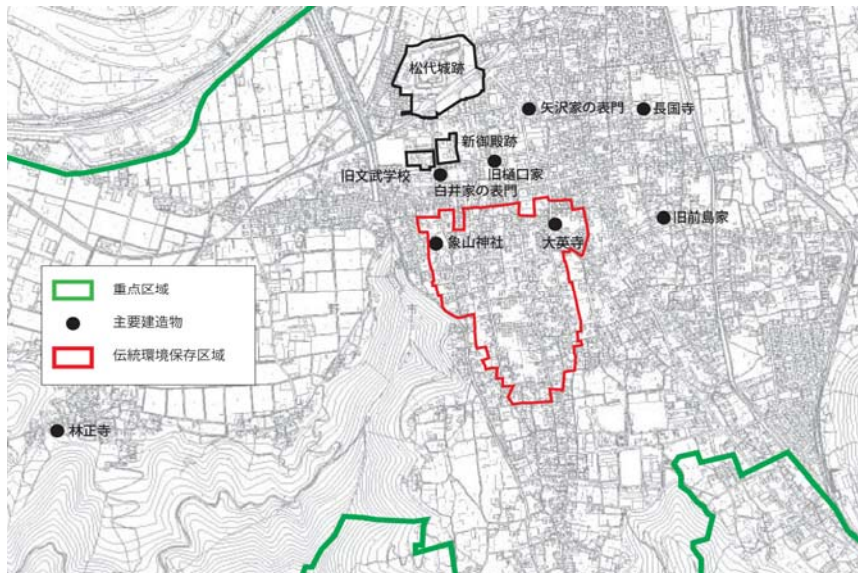
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

伝統環境保存区域:約29ha



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
無形文化財支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定等を受けている伝統的な祭礼を保存・継承するためには、無形文化財の保持者または保持団体が、地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供する必要がありますため、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費について、支援事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財伝承者の養成、若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場の積極的な提供、公開活動に対する支援等を行うため、無形文化財及び無形民俗文化財の保持者または保持団体に対し、活動経費の一部を助成した。
 ○平成28年度実績:無形文化財補助金 3件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財の技能保持者が高齢化しており、十分な伝承者の育成が間に合わない可能性があるため、文化財の映像記録作成などを積極的に進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

平成28年度
 支援先の概要

(善光寺・戸隠地区)

① 宣澄(せんちょう)踊り保存会

戸隠神社宣澄社および宣澄生誕地等で宣澄踊り奉納を3回実施した。



踊り奉納の様子

(松代・若穂川田地区)

① 箏曲(そうきょく)八橋流保存会

山寺常山邸や松代文化ホール等で演奏会を実施した。



長野市民新聞H28.5.21記事 * 転載許可



長野市民新聞 H28.10.6記事 * 転載許可

② 大門踊(おおもんおどり)保存会

真田十万石まつりで大門踊りを披露した。



踊り披露の様子

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------	---

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的町並みを活かした良好な町並み形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠地区の住民や設計者、施工者を対象に、歴史的建造物の修理を計画する際の注意点等を共有するため、専門家(一級建築士)を1人派遣し、現地を確認しながら助言を得た。
 また、戸隠地区の住民を対象に開催したまちづくり勉強会において、まちづくり協定や歴史的建造物の修理について先進地の事例などを紹介するため、専門家(一級建築士)を2人派遣し、意見交換を行った。
 その結果、戸隠地区における歴史まちづくりの取り組みに対する住民の理解が深まった。
 ○平成28年度実績:コーディネーター派遣人数 3人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



歴史的建造物の修理について専門家の意見を聞く様子(H28.12.28)



まちづくり勉強会の様子(H29.1.30)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況

善光寺周辺地域道路美化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	--	---

事業期間 平成15年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、周囲の景観に調和した舗装整備を行う。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り、長野北96号線、長野北236号線

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺道路の美化工事(石畳舗装)を実施し、良好な景観形成が図られた。
 ○平成28年度実績
 道路美化(石畳舗装):長野北98号線(釈迦堂通り)L=60m、長野北99号線(阿闍梨池通り)L=58m
 ※道路美化総延長(計画期間累計) 実施済みL=489m/計画延長L=1,094m(進捗率44.7%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

道路美化位置図

長野北99号線 (阿闍梨池通り) L=58m

長野北98号線 (釈迦堂通り) L=60m

凡例
 街なみ環境整備事業地区
 過年度完了箇所
 H28完了箇所
 未完了箇所

釈迦堂通り道路美化の状況

整備前

↓

整備後

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

善光寺周辺地域電線類地中化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	--	---

事業期間 平成17年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、電線類を地中化し、道路からの眺望景観の向上を図る。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

御幸坂通りの電線類地中化実施に向けて、善光寺事務局との協議を1回(2/15)実施し、善光寺周辺地域における道路からの眺望景観の向上を図った。
 ※電線類地中化総延長(計画期間累計) 実施済みL=540m/計画延長L=790m(進捗率68.4%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

電線類地中化位置図

長野北98号線
(御幸坂通り)
L=250m

凡例
 街なみ環境整備事業地区
 過年度完了箇所
 未完了箇所

御幸坂通りの現況

善光寺事務局との協議
(H29. 2.15)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
善光寺経蔵保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～平成29年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	重要文化財善光寺経蔵は、宝暦9年(1759)の建立以降、屋根葺替及び部分修理以外の全面的な保存修理を実施していないため、屋根の劣化とともに建物基部の基壇や石敷の変形と不陸等が顕著な状況となっている。耐震性能並びに耐震上の課題を把握した上で、全面的な構造補強及び保存修理工事を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
善光寺経蔵保存修理工事費の一部を助成し、歴史的建造物の保全を図った。 ○H28年度実績 平成26年度より継続実施してきた解体工事、木工事、構造補強工事が完了。屋根工事、基礎工事、建具工事に着手			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



善光寺経蔵 屋根工事
(文化庁指導)



善光寺経蔵 基礎工事

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	28年度
項目	現在の状況	
善光寺表参道地域交流拠点整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 善光寺表参道に面し、弥栄神社の御祭礼屋台巡行のルートであるため、地元住民や来訪者のための地域交流拠点として、緑豊かな公園や表参道の歴史を伝える施設等を整備する。また、観光客用駐車場不足の状況を踏まえ、観光バスの駐車できる駐車場の設置についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民有地である事業予定地の用地取得に向けて、地権者との交渉を実施し、地元住民や来訪者の地域交流拠点化の調整を図った。

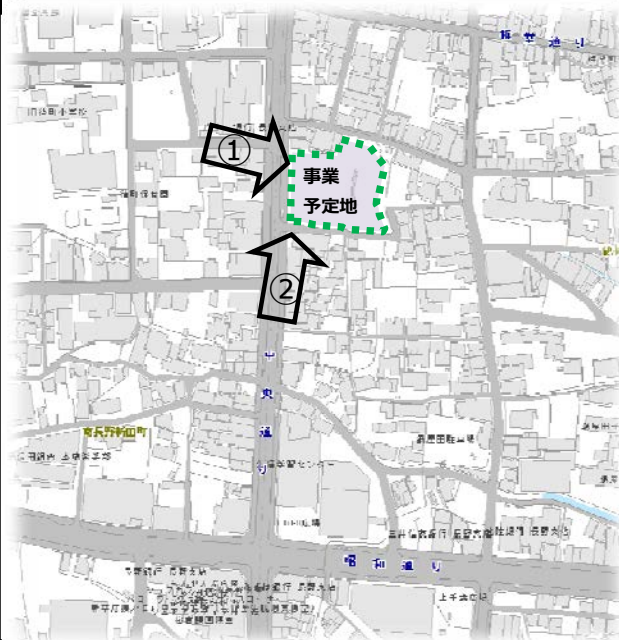
○平成28年度実績:用地交渉回数 10回 (5/9、6/8、7/6、7/11、8/2、9/1、9/14、10/20、11/9、11/18)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



事業予定地の現況 ①



事業予定地の現況 ②

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観重要建造物に指定された宿坊極意(中社)と越志旅館(宝光社)について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に要する経費の一部について助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宿坊極意及び越志旅館の茅葺屋根の部分修理費の一部を助成し、戸隠地区における歴史的建造物の保全を図った。また、同建物の平成29年度の修理に向けて、現状変更申請し許可を得た。
 ○平成28年度実績:景観重要建造物修理助成 実績2件/当初計画2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

宿坊極意(中社)



修理前

修理後

越志旅館(宝光社)



修理前

修理後

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弥栄神社の御祭礼で曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祇園祭における屋台巡行の毎年実施が復活し、今年度で5年目を迎えた。祭りに参加する屋台を一定数確保し、祭礼の定着と発展を図るため、屋台の組み立て、解体及び修繕費の一部を助成した。

○平成28年度実績

祭礼屋台事業補助金:8件(屋台6台の組み立て及び解体費の一部を助成、このうち2台の屋台補修費の一部を助成)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

ながの祇園祭・御祭礼屋台巡行の様子(H28.7.10)



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
善光寺本堂耐震補強事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 国宝善光寺本堂の耐震診断に基づき、参拝者に対する安全確保を目的とした、天井部分の落下防止対策等の補強工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

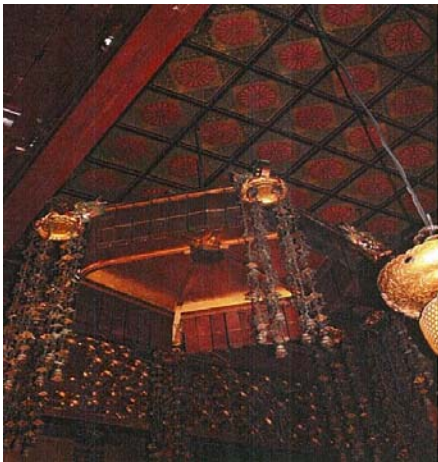
所有者により善光寺本堂の耐震補強が実施され、歴史的建造物の保全が図られた。
 ○平成28年度実績
 専門家による現地調査、小屋組みのクサビ締め直し及び天井板の落下防止対策 ※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今年度で事業は完了するが、今後も定期的な調査点検を継続する。

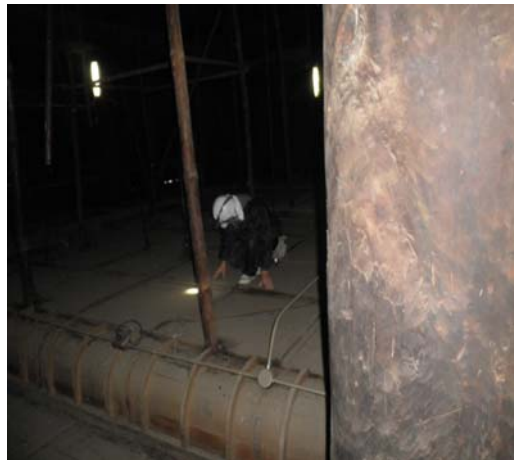
状況を示す写真や資料等



善光寺本堂 天井・天蓋



善光寺本堂 天井板落下防止調査(内陣)



善光寺本堂 天井板落下防止調査(内々陣)

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
戸隠茅場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成34年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	戸隠中社・宝光社地区の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に維持保全していくため、中社地区内にある戸隠スキー場中社ゲレンデを茅場として整備する。なお、このゲレンデの一面には、すでに茅材に適した大茅が自生していることから、毎年、定期的に茅刈りを行うことにより、良質な茅場として整備できることが十分に見込める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
11月8日、9日の二日間、戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会により茅刈りが行われ、伝統技術の継承が図られた。 延べ参加者:50人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り H28.11.8:参加者26人 H28.11.9:参加者24人 </div>			
			
茅刈りの様子		茅刈りの様子	
			
茅刈りの様子		刈り取った茅	

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 戸隠の歴史的風致を形成する重要な歴史的建造物のうち、主要な通りに面し、かつ、現在も茅葺屋根を維持し続けている建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理を行う場合に経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

武井旅館(宝光社)の茅葺屋根の部分修理、下屋屋根の修理及び久山館(石垣)(中社)の部分修理費の一部を助成し、戸隠地区における歴史的建造物の保全を図った。 ※事業完了
 ○平成28年度実績:歴史的風致形成建造物修理助成 実績2件/当初計画2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 戸隠地区の歴史的風致形成建造物(4件)が、重伝建地区内の伝統的建造物群を構成する建造物となったことから、本事業は伝統的建造物群保存地区制度に引き継ぎ、今年度で完了とする。

状況を示す写真や資料等

武井旅館(宝光社)



修理前



修理後

久山館(石垣)(中社)



修理前



修理後

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
		現在の状況
松代地域道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成16年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧松代藩の城下町である松代の中心市街地は、松代城跡、新御殿跡、旧文武学校、旧樋口家住宅など、数多くの文化財が集積するとともに、善光寺御開帳における回向柱の奉納や天王祭における神輿巡行の舞台でもある。本事業では、城下町にふさわしい歴史的景観とするために、周辺の歴史的建造物に調和した歩車道の美装化を行う。

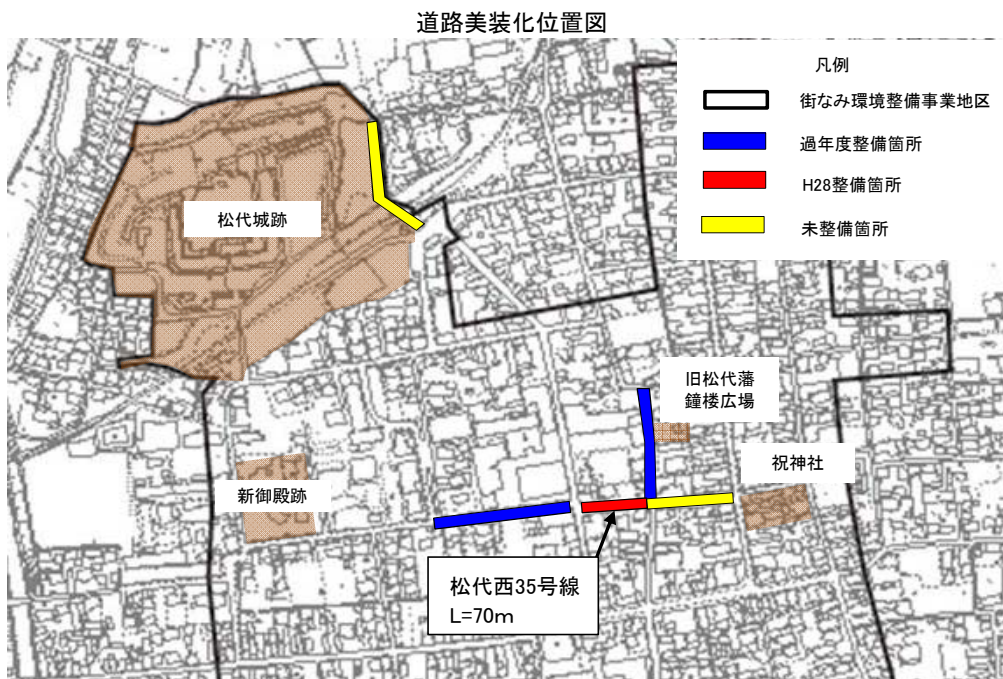
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代城下町エリアの道路美装化工事(石畳風舗装)を実施し、良好な景観形成が図られた。
 ○平成28年度実績
 松代西35号線の道路美装化(石畳風舗装) L=70m
 ※道路美装化工事総延長(計画期間累計) 実施済みL=330m/計画延長L=600m(進捗率55.0%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



松代西35号線の状況



整備前



整備後

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
伝統環境保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和59年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に受け継ぐため、伝統環境保存区域内で行われる建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存区域外の保存対象物である「旧真田勘解由家住宅」について、主屋の屋根修理工事費の一部を助成し、松代城下町における歴史的景観の保全を図った。
 修理にあたっては長野市伝統環境保存審議会の助言・指導を受け、実施した。
 ○平成28年度実績:修理・修景助成 1件/当初計画1件

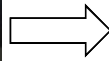
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者の高齢化や所有者の代替わりによる生活スタイルの変化、相続時の土地分割などを主な要因として、歴史的建造物及び庭園群が年々減少しているため、地域と一体となって保存に取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等

旧真田勘解由家(主屋の屋根)



修理前



修理後

長野市伝統環境保存審議会開催の様子



現地視察



現地視察後の審議

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
旧横田家住宅保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 江戸時代の中級武家屋敷である旧横田家住宅(主屋、表門、隠居屋、土蔵2棟)は、前回の解体修理工事から20年以上経過し、茅葺屋根や土壁、木部等に劣化が生じていることから、保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域を代表する文化財の一つである旧横田家の保存修理に向けて、耐震補強案作成等を実施し、松代城下町における歴史的建造物の保全を図った。

○平成28年度実績

現状調査(目視調査、実測調査)、構造診断図、耐震補強案等の作成

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化庁の指導により耐震補強を含めた保存修理が必要になり、耐震補強案作成に不測の期間を要したため、事業期間を平成32年度まで延伸し、次年度以降に保存修理を行う。

状況を示す写真や資料等

現状調査の様子



評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
旧文武学校保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弓術所等の耐震診断、実施設計及び東序土塀の保存解体工事を実施し、松代城下町における歴史的建造物の保全を図った。
 ○平成28年度実績
 耐震診断・実施設計:弓術所、柔術所、剣術所、東序、西序等
 保存解体工事:東序東側土塀

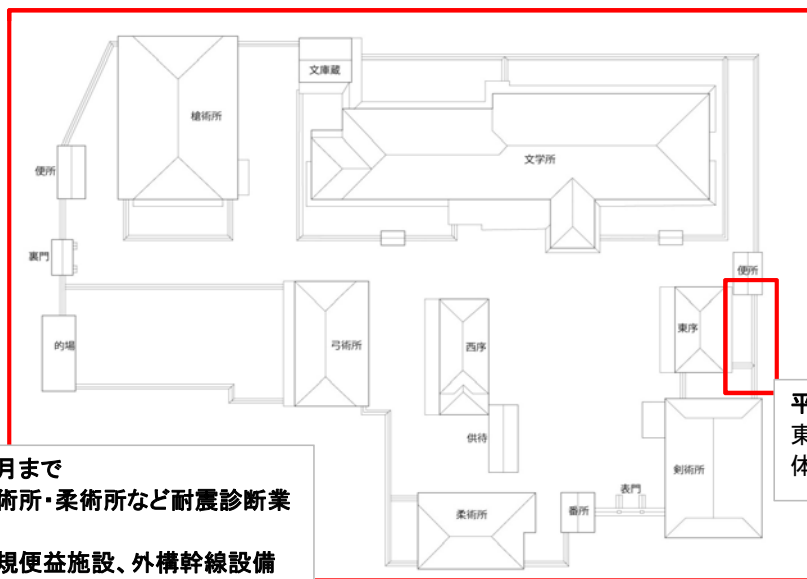
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文武学校 配置図



平成29年3月まで
 弓術所・剣術所・柔術所など耐震診断業務、
 建造物・新規便益施設、外構幹線設備
 工事 実施設計業務

平成29年3月まで
 東序東側 土塀解体
 体工事

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
松代町文化財保存活用推進事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
長野市内の中で文化財施設が特に多く集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを促進するため、文化財ボランティアの活動や市民ワークショップの開催等を推進する。また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館が、近年、施設の老朽化に加え、展示施設の調湿機能の不備、収蔵庫不足等の諸問題が生じているため、真田宝物館の設置場所も含めた、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財ボランティアの活動は、毎年年間約延べ5千人の活動を実施し、市民活動として定着している。平成28年度は、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送を機に、真田家の実像を体感する特別イベント「信州松代真田大博覧会」を開催し、松代地区の文化財施設を活用したまちづくりを推進した。この結果、ボランティアの案内ガイド人数はイベント開催前に比べ大きく増加した。

○平成28年度実績

ボランティア案内ガイド人数 67,604人に対応(H28.12月までの人数)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	真田宝物館の老朽化に伴う建替えについては、史跡松代城跡整備事業と一体のものとして位置づけし、設置場所を含めて検討を進める。

状況を示す写真や資料等



「信州松代真田大博覧会」リーフレット



長野市民新聞 H28.8.9 記事
* 転載許可

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
旧松代駅舎保存活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代城跡の整備に係る庁内検討(1回)及び駅舎活用に関する地元との協議(2回)を実施し、駅舎の活用方法を検討した。平成28年4月1日から12月12日まで、臨時観光案内所として地元で活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

旧駅舎の保存を含む、具体的な活用方針は決まっていない。旧駅舎は、史跡松代城跡に隣接し、今後の松代城跡復元整備計画や観光振興策などとの整合を図りながら、全体の中での活用を検討する。

状況を示す写真や資料等

- 地元との協議
平成28年5月25日(水)
平成28年8月26日(金)

- 庁内協議
平成28年7月28日(木)



週刊ながの H28.4.16 記事
* 転載許可

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
松代城跡東側駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

暫定的に観光用駐車場として活用し、中心市街地への自動車流入の抑制を図った。また、地元有志によりイベント会場として活用された。

○平成28年度実績

7月～10月の月1回:地元有志によるイベント「信州松代キッチンカープロジェクト」会場として活用

10月8日～9日:松代藩真田十万石まつりの臨時駐車場、イベント会場として使用

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

史跡松代城跡に隣接しているため、将来的な整備については、今後の松代城跡の復元整備計画との整合を図りながら、アクセス駐車場の整備範囲、整備時期について検討を行う。

状況を示す写真や資料等

平成28年度のイベントにおける利用状況
(H28.9.30 地元有志の主催によるイベント)



観光用駐車場としての利用状況



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷を活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路構造、整備区間に係る地元協議や公安協議等を実施した。
境界立会い L=0.8km、詳細設計 L=0.8km、自転車道・遊歩道建設工事 L=約0.5km

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

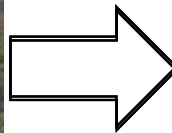
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

十分な予算を確保し、継続的、計画的に、工事の進捗を図る。

状況を示す写真や資料等



工事前



工事後

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
史跡大室古墳群保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 平成10年(1998)から平成25年(2013)にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元整備ゾーン(面積:約42,000㎡、古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承するとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、また、園路や説明板等の便益設備を整えて見学者の利便性を高めるなど、学校教育や生涯学習の場として活用できるように整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

古墳4基(154・172・173・176号墳)の遺構確認調査、古墳1基(172号墳)の横穴式石室測量調査を実施し、大室古墳群の文化財的価値の向上を図った。また、整備作業道(園路)の実設計を委託業務として実施し、来年度以降の整備工事の準備を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



172号墳発掘調査 調査風景



176号墳発掘調査 調査風景



172号墳 発掘調査実施状況



173号墳 発掘調査実施状況

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
旧信濃川田駅保存活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	川田宿には、地域の歴史や文化を伝えるための施設が不足しているとともに、大通りから離れたところに歴史的まちなみが形成されているため、歴史的まちなみへの案内が不足している。本事業は、川田における歴史的建造物の一つである大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域の歴史的建造物の一つである駅舎の活用について地元との協議(2回)を実施した。 地元住民により、市への駅舎活用品提案に向けた住民アンケート(駅舎とその周辺の整備について)及びアンケート結果を踏まえた地元としての活用品検討が実施された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	北国街道松代道周辺文化財等周遊道路と合わせて駅舎を利活用するため、整合を図りながら、地元との協議を行い、活用品計画の策定を進める。		
状況を示す写真や資料等			
駅舎及びその周辺の活用について、協議を実施 ○地元との協議 平成28年11月14日(月) 現地の状況を改めて、確認 平成28年12月12日(月) 駅舎及びその周辺の整備計画について			
			

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
松代歴史文化の発信・誘客事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	松代の歴史文化を発信し誘客に繋げようとして「NPO 法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、広報・出版・情報発信事業、まち歩きセンター運営事業に対して助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松代地区全体を歴史的遺産と見立て、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っている「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動費を助成し、散策ツールの製作、まち歩きガイドの養成、まち歩きセンター運営、まちづくりシンポジウムの開催等まち歩き観光の推進とPRIに寄与した。 ○H28年度活動実績 まち歩きツアー 17回実施 参加者合計378名 松代学講座 6回実施 参加者合計628名 松代藩の鷹狩りを紹介するイベント(H28.11.20) 参加者約800名 他			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域資源の掘り起こしに合わせて、それら資源の保存・維持に向けた取り組みも検討する。		

状況を示す写真や資料等



まち歩きセンター外観



松代学講座の開催



歴史や観光資源を紹介する冊子



まち歩きガイドの実施



松代藩の鷹狩りを紹介するイベント

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
県宝大英寺本堂保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 県補助金、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松代の歴史的風致を形成する県宝大英寺本堂および表門について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県宝大英寺本堂(大蓮院霊屋)および表門の修理費の一部を助成し、松代城下町における歴史的建造物の保全を図った。
 ○平成28年度実績
 本堂修理工事:基礎修理完了、覆屋設置、屋根の木部の修理ならびに瓦の葺き替え、内壁・外壁の修理に着手

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



大英寺本堂 覆屋



大英寺本堂屋根瓦吹き替え



内陣解体状況



外壁他修理状況

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
川田宿PR活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 川田宿の歴史的町並みや伝統文化を川田宿を訪れる観光客に対して広くPRするため、川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施や町歩きガイドマップの作成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域に指定されたことを受けて設立された「川田宿ガイドの会」会員を中心に、川田宿見学者への案内ガイド等を実施し、街道宿場としての歴史を活かしたまちづくり及びPRに取り組んだ。
 ○平成28年度実績
 ・月例学習会(月第2火曜日) 会の運営や新たな資料収集のほか、ガイドマップを作成(増刷)した。
 ・案内ガイドの実施 7回(5/16,6/8,7/13,7/29,9/22,10/6,11/16,11/18,12/2) 見学者、テレビ取材120人に対応した。
 ・現地研修会(5/15・長沼宿,10/16・丹波島宿)を開催し、ガイド団体の取り組みや活動状況など意見交換を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



案内ガイドの様子 長野市中部公民館
(H28.6.8:参加者27名)



案内ガイドの様子 保科ウォーキングの会
(H28.9.22:参加者11名)



現地研修会 長沼宿
(H28.5.15:参加者8名)



現地研修会 丹波島宿
(H28.10.16:参加者9名)

評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
史跡松代城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成27年度～平成32年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容	史跡松代城跡について、松代地区の中核拠点として利活用を図るため、史跡の追加指定・公有地化を進め、保存整備を実施するもの
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡追加指定範囲の公有地化を進め、「保存活用計画」「第2期整備基本計画」の策定に向けた専門家会議を開催し、松代地区の中核拠点としての利活用を図った。
 ○平成28年度実績
 追加指定範囲の公有地化に向けた用地買収(13筆、6,290㎡)
 「史跡松代城跡整備専門家会議」の組織、会議の開催(2回)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡の保存整備に際しては、既存市道の付替え等史跡周辺整備を先行して進める必要があり、庁内関係各課及び地元住民との協議に時間を要しているため、事業期間を平成34年度まで延伸する。

状況を示す写真や資料等



◎指定等の対象地域の範囲を示す地形図



松代城跡 整備専門家会議

評価軸③-26 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
県宝長国寺開山堂保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成29年度		
支援事業名	県補助金、市補助金		
計画に記載している内容	県宝長国寺開山堂の屋根に著しい劣化が見られることから修理工事を実施し、この経費の一部について補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要文化財真田信之霊屋、史跡松代藩主真田家墓所とともに真田家霊屋・墓所区域を構成する、長国寺開山堂(第三代松代藩主真田幸道の霊屋)の屋根修理費の一部を助成し、地域における歴史的建造物の保全を図った。 ○平成28年度実績 覆屋設置・屋根瓦取り外し、屋根木部修理・ビニールシート被覆、覆屋取り外し			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">覆屋設置状況</p>		 <p style="text-align: center;">屋根瓦取り外し、木部修理状況</p>	
 <p style="text-align: center;">屋根木部修理完了 シート養生</p>		 <p style="text-align: center;">覆屋取り外し、平成28年度分完了状況</p>	

評価軸③-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
県宝林正寺本堂保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成30年度

支援事業名 県補助金、市補助金

計画に記載している内容 老朽化が著しい県宝林正寺本堂について、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

真田家ゆかりの霊屋・墓所区域を構成する、林正寺本堂(第二代松代藩主真田信政の霊屋)の修理費の一部を助成し、地域における歴史的建造物の保全を図った。

○平成28年度実績
屋根修理完了、覆屋取り外し、外壁・内壁等の修理に着手

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



覆屋設置状況



屋根修理状況



屋根修理状況



屋根修理状況

評価軸③-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
大室古墳群アクセス道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

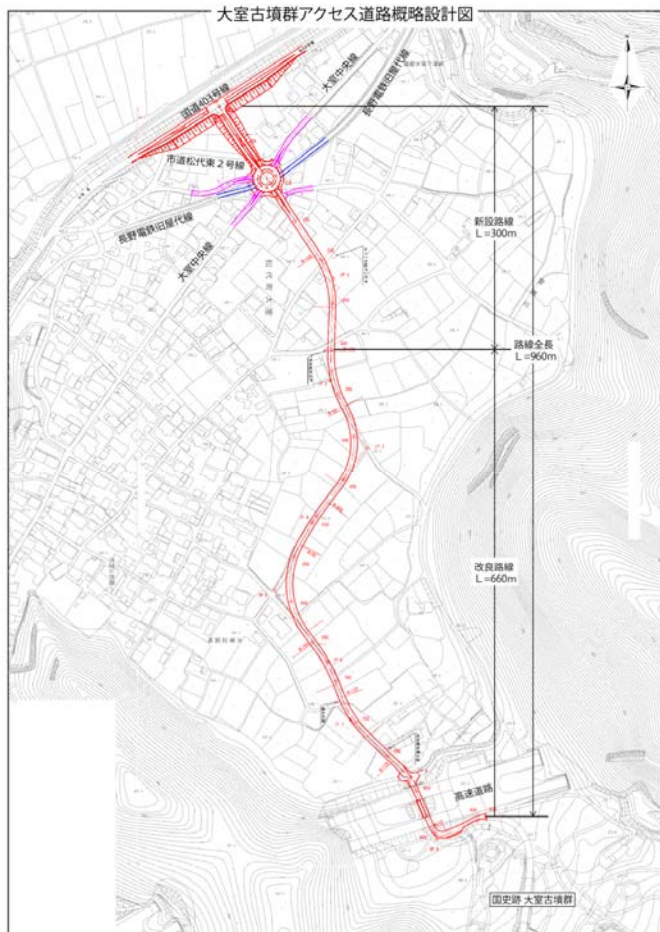
計画に記載している内容
大室古墳群の保存活動は、史跡整備されたエントランスゾーンやガイダンス施設「大室古墳館」を拠点に、周辺の歴史文化資産を含めた保存を図っていく局面を迎えている。こうした新たな保存活動及び利活用の促進を図る上で、国道403号線から国史跡大室古墳群までのアクセス道路整備により誰もが訪れやすいようにするとともに、周辺の歴史文化資産を活かす道路として整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

概略設計による基本ルート案をもとに、大室古墳群アクセス道路整備対策委員会(地元)と9回にわたり協議を行うとともに、地権者等への説明会(1回)を開催し、道路整備着手に向けた準備作業を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路整備着手にあたり必要となる地権者等の事前同意の確認に期間を要したため、平成28年度中に予定した地質調査を次年度に実施し、事業期間を平成34年度まで延伸する。

状況を示す写真や資料等



大室古墳群アクセス道路概略設計図



大室古墳群アクセス道路対策委員会との協議

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市有文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 鬼無里神社祭礼での屋台巡行
5/3の鬼無里神社春の例大祭で例年通り屋台が巡行し、北村喜代松制作の彫刻を間近で多くの人たちに見ていただいた。
- ホームページによる情報発信
鬼無里ふるさと資料館のホームページに月ごとの鬼無里の情報を発信するコーナーを設けるなど、ホームページの充実を図った。
- ギャラリートークの実施
館職員による屋台についてのギャラリートークを実施(4月から12月までの毎週土、日、祝休日)。実施に関する情報をホームページ及び広報ながの9月号に掲載し誘客に勤めた。
- チラシの作成
屋台を含めた資料館の情報発信のため、チラシを5回作成した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ふるさと資料館紹介チラシ



鬼無里ふるさと資料館ホームページ



鬼無里神社春の例大祭(H28.5.3)における屋台巡行



評価軸③-30 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白髭神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○ホームページによる情報発信 鬼無里観光振興会により、鬼無里神社の祭礼(5月3日)、諏訪神社の御柱祭(5月5日)、白髭神社の祭礼(5月3日、9月11日)開催における情報発信を行い、地元住民をはじめ多くの参加者で賑わった。</p> <p>○体験型ツアーの実施 (公財)ながの観光コンベンションビューローにより、平成25年度から実施している地域の伝統的祭礼や文化財を活用した体験型ツアーが今年度も企画・実施され、市内外から多くの参加者が集まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷の都きなさ ふるさとの原風景を訪ねる旅(白髭神社・松巖寺参拝等)(9月17～19日) 参加者延べ22名 ・谷の都きなさ 里山の秋を楽しむ旅(白髭神社・松巖寺参拝等)(10月10～15日) 参加者延べ82名 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>鬼無里神社 祭礼のお知らせ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>諏訪神社 御柱祭のお知らせ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>白髭神社 春祭りのご案内</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">伝統的な祭礼等のホームページによる情報発信 左: 鬼無里神社の祭礼 中: 諏訪神社の御柱祭 右: 白髭神社の祭礼</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>谷の都 きなさ ふるさとの原風景を訪ねる旅</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>里山の秋を 楽しむ旅</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">体験参加型ツアーのリーフレット 左: 谷の都きなさ ふるさとの原風景を訪ねる旅 右: 谷の都きなさ 里山の秋を楽しむ旅</p>			

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	28年度
項目	現在の状況	
松巖寺経蔵保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～平成29年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 寛政7年(1795)の建立とされる松巖寺経蔵(市指定有形文化財)は、中に六角輪蔵があり、数多くの経典が収められている。経年による劣化や平成26年11月に発生した長野県神城断層地震による被災で破損した経蔵の保存修理を行い、その文化的価値を保全し、同時に観光拠点・生涯学習の場としての利活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松巖寺経蔵(市指定有形文化財)の修理費の一部を助成し、鬼無里地区における歴史的建造物の保全を図った。

○平成28年度実績

外壁及び内壁の修理工事、外部雨落ち内側の犬走り土間及び内部土間叩き、屋根の葺き替え(鉄板葺きから銅板葺きへ変更)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

松巖寺経蔵保存修理の状況



修理前(正面)



修理後



修理前(屋根)



修理後

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
----------------------------------	---	--

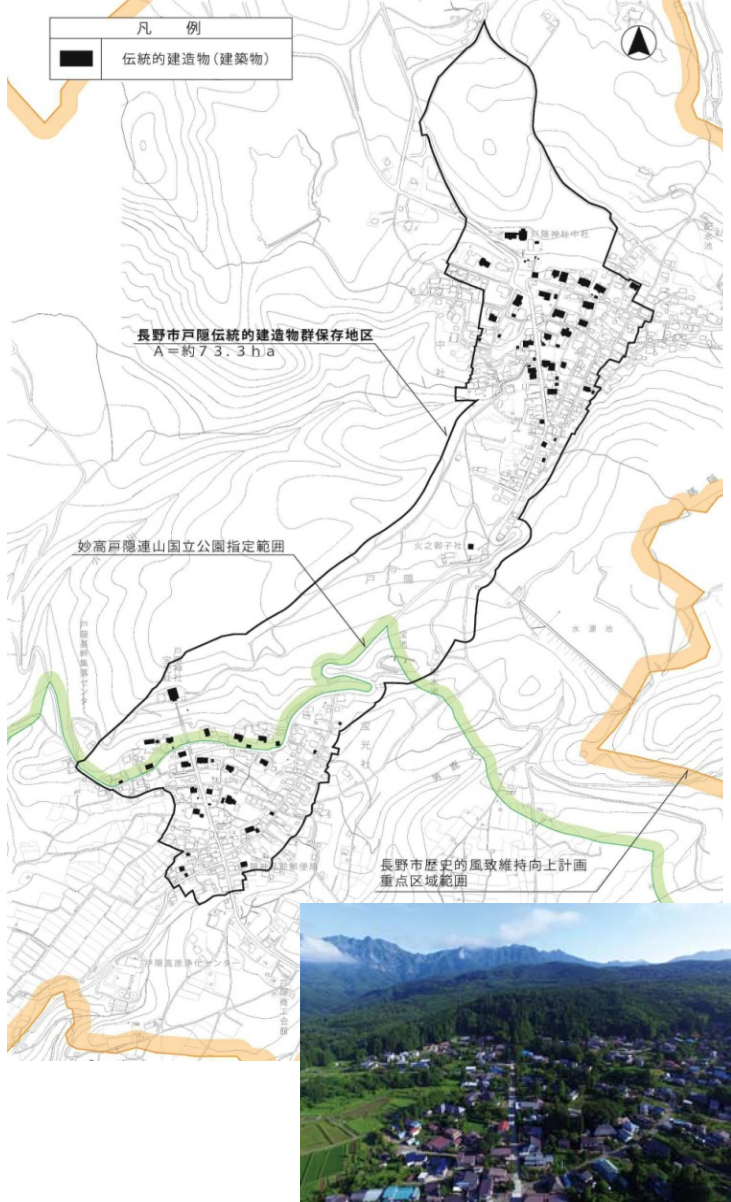
計画に記載している内容 文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

近世以降の宿坊群等の伝統的建造物群及び門前町としての地割が良く旧態を保持している戸隠中社・宝光社地区の一部について、「長野市戸隠伝統的建造物群保存地区」として決定(8月5日告示)し、2月には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内に数多く残る歴史的価値を有する建造物等の文化財について、適切な保全を推進するため、今後も新規の指定・登録等を積極的に進める。

状況を示す写真や資料等



保存地区の町並み(中社区)



代表的な伝統的建造物(中社区)



代表的な伝統的建造物(宝光社区)

保存地区と戸隠連峰(宝光社区)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財の建造物・記念物等について、計画的に保存修理または保存修理費の助成を実施し、適切な保存活用を図ることができた。
 ○指定文化財の保存修理事業 7件
 (国指定:旧文武学校保存整備、大室古墳群保存整備、善光寺経蔵保存修理工事)
 (県指定:大英寺本堂保存修理工事、林正寺本堂保存修理工事、長国寺開山堂修理工事)
 (市指定:松巖寺経蔵保存修理工事)
 ○指定文化財の耐震診断事業 1件
 (国指定:旧横田家住宅耐震診断)

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



史跡旧文武学校整備専門家会議での審議(H28.8.29)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の防災に関する取り組みについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

定期的に文化財防火パトロールを実施し、所有者・管理者と消防局による防火点検や、地元消防団の放水訓練などを行い、日常的に防災意識の高揚と火災被害の軽減を図る。さらに、防犯対策として、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の耐震診断と耐震補強工事や、消火設備、避雷針設備等の防災設備設置工事等の推進を図るとともに、日常的な維持管理や所有者への注意喚起等により、美術品等の防犯対策を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財パトロールの実施
 ・国・県指定文化財:年2回(パトロール員3名)
 ・市指定文化財:年1回(パトロール員28名)
 文化財所有者管理者研修会の開催(11月4日)
 善光寺(1月26日)などの文化財施設において「文化財防火デー」を中心とした防火放水、避難訓練が実施された。併せて文化財愛護に関する普及啓発も実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

文化財パトロールの様子



(県指定天然記念物 真島のクワ)



(県指定天然記念物 戸隠神社奥社社叢)

文化財防火デー 訓練の様子



H29.1.26 善光寺

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

文化財の周辺環境の整備について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	--	---

計画に記載している内容

歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美装化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。

〈善光寺戸隠地区〉
 ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美装化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。

〈松代・若穂川田地区〉
 ・電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。

〈鬼無里地区〉
 ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。

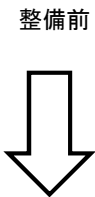
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺地区の電線類地中化と道路美装化(評価軸③-3、③-4参照)及び松代地区の道路美装化(評価軸③-12参照)を実施し、文化財及びその周辺の歴史的景観との調和が図られた。
 鬼無里地区内の文化財を活用した体験型ツアー(評価軸③-30参照)を開催し、歴史的景観に関する住民意識の向上が図られた。

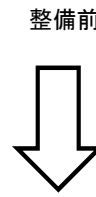
進捗状況 ※計画年次との対応

	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



整備後



整備後



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及、啓発について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------------	--	---

計画に記載している内容 文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺地区では、施主により重文善光寺経蔵の保存修理工事の現場公開が行なわれ、歴史的建造物の魅力や継承の意義が伝えられた。(H28.8.4 参加者60名)
 松代地区では、「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」などの各種団体主催によるまち歩き・見学会、勉強会などが開催された。(評価軸③-22参照)
 鬼無里地区では、鬼無里神社祭礼時に屋台巡行や(評価軸③-29)、(公財)ながの観光コンベンションビューロー主催の白髭神社本殿(重要文化財)特別拝観等を組み込んだ体験型ツアー(評価軸③-30参照)が実施された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



善光寺の経蔵 補修作業現場を来月4日に公開

善光寺は8月4日、境内で保存修理工事を進めている「経蔵」(重要文化財)の作業現場を一般公開する。現在は屋根材などを取り除いた骨組みの状態

25日に公開された経蔵の骨組み

8月中旬に始まる耐震化と復元工事を前に、約60年前の創建当時の工法などを多くの人に覚えてもらう。今後の耐震工事では、経蔵の柱と、経蔵中央にある経典を納めた「輪蔵」の柱を連結させ、互いの柱の振動エネルギーを消散させる「ダンパー」を設置する。

8月4日の作業場の公開開始時間は午前10時、11時、午後1時、2時。各回先着20人。参加無料。希望者は善光寺事務局(☎234・3309)へ。

長野市民新聞 H28.8.9 記事
* 転載許可

矢澤家の表門と戦いの神様(鎮守社)を公開!

真田家ゆかりの地をめぐる

真田信幸は父昌幸の知略と戦術に倣い、前田や真田の郷を治め、雄勇として真田家の存続に尽くしました。大坂夏の陣のあとは松代藩の初代藩主となり、江戸時代10代(約250年)に亘る治世の礎を築きました。

信幸・信繁の母が嫁いだ小山田家、信幸の正室小松姫の御霊殿を本堂としている大英寺、真田家の菩提寺で歴代の藩と信繁の息子大助の供養塔のある長国寺。二人の祖父幸隆の弟頼綱の子孫の矢澤家をめぐります。今回は矢澤家の表門と鎮守社『摩利支天尊』を開放させていただきます。元和八年(1622年)の松代移住後ずっと祀ってきた鎮守社などご覧ください。

平成28年7月2日(土)

受付開始: 9:00 集合場所: 旧松代駅
 出発時間: 9:30 (所要時間約2時間)
 参加費: 500円
 持ち物: 飲み物、履きなれた靴、帽子

コース: 旧松代駅⇒小山田家⇒矢澤家⇒長国寺⇒松代まち歩きセンター⇒大英寺⇒つたや⇒旧松代駅

主催 NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会
 共催 松代観光推進機構
 連絡先 長野市松代町松代(伊勢町)577
 TEL 026-278-1277

まち歩きツアー「真田家ゆかりの地をめぐる」開催案内チラシ

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	平成28年度
	年月日	掲載紙等
重伝建の選定目指す 長野・戸隠地区	平成28年4月7日	信濃毎日新聞
廃線の旧松代駅舎に活気戻る「観光拠点に」スタッフ常駐	平成28年4月16日	週刊長野
小松姫の御霊屋 天井板に人物画	平成28年4月21日	信濃毎日新聞
真田十万石の城下町 自転車で巡る	平成28年4月21日	信濃毎日新聞
屋台を曳き出し 鬼無里神社例大祭	平成28年4月23日	週刊長野
真田大博覧会 春～夏多彩なイベントを展開	平成28年4月24日	信濃毎日新聞
御柱祭 各地で熱気 長野の和田・水内坐一元・町川田神社	平成28年4月24日	信濃毎日新聞
善光寺平の御柱	平成28年4月30日 平成28年5月10日	長野市民新聞
中央通り人手 善光寺花回廊ながの花フェスタ2016など	平成28年5月7日	長野市民新聞
真田大博覧会 さらに盛大に	平成28年5月12日	信濃毎日新聞
「八橋流」琴の響きに包まれて	平成28年5月22日	信濃毎日新聞
真田邸の庭園ライトアップ	平成28年5月28日	信濃毎日新聞
長野市歴史的風致維持向上計画 ～歴史的建造物と伝統文化を生かしたまちづくり～	平成28年6月1日	広報ながの6月号
「重伝建」選定へ住民ら意見交換 戸隠の中社区・宝光社区	平成28年6月7日	信濃毎日新聞
旧文武学校で演奏会	平成28年6月20日	信濃毎日新聞
桜枝町と祇園祭 宮司に歴史聞く 屋台巡行を前に講演会	平成28年6月23日	長野市民新聞
湯福神社茅の輪くぐり	平成28年7月2日	長野市民新聞
真田宝物館特別展の内容一新	平成28年7月2日	長野市民新聞
戸隠地区自治協など重伝建選定向け支援拡充を要請	平成28年7月7日	信濃毎日新聞
屋台 新たな天井絵も ながの祇園祭	平成28年7月11日	信濃毎日新聞
善光寺経蔵 補修作業現場を来月4日に公開	平成28年7月28日	長野市民新聞
国の重伝建選定へ 保存計画を答申	平成28年7月30日	信濃毎日新聞
保存計画案を答申 「重伝建」目指す戸隠地区	平成28年8月4日	長野市民新聞
松代案内に奮闘 真田邸前で市ガイド協会	平成28年8月9日	長野市民新聞
現地調査して助言 市伝統環境保存審	平成28年8月11日	長野市民新聞
入場者40万人越え 真田宝物館 真田邸 文武学校	平成28年9月17日	長野市民新聞
11月に初めての武道祭 文武学校	平成28年10月1日	週刊長野
長野市戸隠伝統的建造物群保存地区を決定しました	平成28年10月1日	広報ながの10月号
戦国武将扮して行列 松代で真田十万石まつり	平成28年10月13日	信濃毎日新聞
国の重要建造物保存地区 戸隠の宿坊群選定 文化審	平成28年10月22日	日本経済新聞
街並み景観賞決まる 松代観光案内版など6件	平成28年10月29日	長野市民新聞
松代城跡東に駐車場 21年度までに新設	平成28年12月1日	長野市民新聞
戸隠まちづくり模索 宿坊群 重伝建選定へ	平成28年12月5日	信濃毎日新聞
真田大博覧会 閉幕の催し賑わう	平成28年12月13日	長野市民新聞
信州スゴチカラ 発見 古くて新しい長野若穂	平成29年1月7日	長野朝日放送
戸隠の中社・宝光社区 国の重伝建に正式認定	平成29年2月24日	信濃毎日新聞
戸隠の中社と宝光社 宿坊群で全国初重伝建に選定	平成29年2月25日	長野市民新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
7年ぶりに開催された諏訪神社(鬼無里)と町川田神社(若穂川田)の御柱祭りや、例年通り開催されたその他の祭礼に関する記事が新聞に掲載され、歴史的風致のPRにつながった。 また、「歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業」の取組みに関する記事も多く掲載された。特に、長野市戸隠伝統的建造物群保存地区の決定・国文化審の重伝建の答申及び、信州松代真田大博覧会に関する記事が度々掲載され、長野市歴史的風致維持向上計画のPRにつながった。		

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



広報ながの 平成28年6月号
* 転載許可



広報ながの 平成28年10月号
* 転載許可



長野市民新聞 H29.2.25記事
* 転載許可



長野市民新聞 H28.4.30 記事
* 転載許可



長野市民新聞 H28.5.10 記事
* 転載許可



長野市民新聞 H28.7.2 記事
* 転載許可

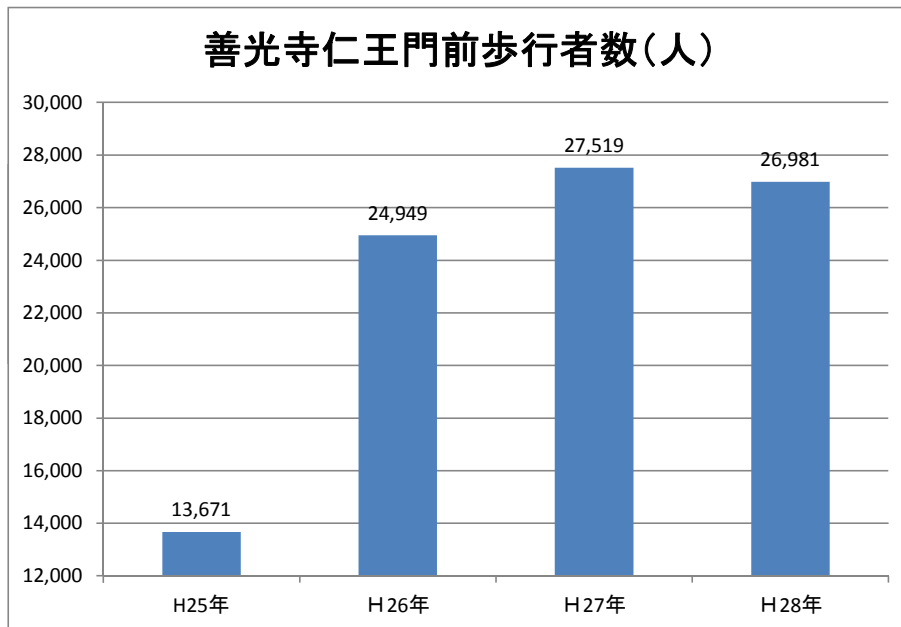


長野市民新聞 H28.9.17 記事
* 転載許可

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	平成28年度
項目			
善光寺仁王門前の歩行者通行量の増加			
計画に記載している内容	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付 善光寺仁王門前の歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施)では、善光寺周辺地域道路美装化事業(評価軸③-3)の実施により、平成25年度から平成28年度の4年間で善光寺仁王門前の歩行者通行量が増加傾向にあり、仲見世及び宿坊群で構成される善光寺門前の回遊性が向上した。 ○平成28年度実績 善光寺仁王門前の歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施) 歩行者人数:26,981人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等

善光寺仁王門前歩行者通行量調査(H25~H28)



評価対象年度	平成28年度
--------	--------

項目

第2回長野市歴史まちづくりシンポジウム「戸隠の未来を拓くまちづくり」の開催

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史を活かしたまちづくりを市民との協働により更に推進していくため、平成27年度に続きシンポジウムを開催した。今年度は、長野市戸隠伝統的建造物群保存地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定されることを記念して「戸隠」をテーマとし、参加した多くの市民に対して歴史まちづくりの意義をPRすることができた。

○シンポジウムの概要

【開催日】平成29年2月13日(月)

【内容】(聴覚障害者等への情報保障のため、手話通訳を実施した。)

- ・長野市戸隠伝統的建造物群保存地区の概要説明
- ・記念講演「戸隠のまちなみの魅力と価値」講師:土本 俊和氏(信州大学教授)
- ・基調講演「歴史まちづくりの可能性」後藤 治氏(工学院大学教授)
- ・公開討論会「戸隠の未来を拓くまちづくりとは」

※長野市戸隠伝統的建造物群保存地区決定に携わった代表者らをパネリストに迎え、今後の戸隠のまちづくりについて意見交換を行った。

○参加者 約170名

○報道の状況

- ・2/4 市民新聞
- ・2/4 週刊長野
- ・2/11 信濃毎日新聞

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



戸隠宝光社区獅子神楽



記念講演



基調講演



パネルディスカッション

シンポジウムリーフレット

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>(1)歴史的建造物の保全と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財に適切な保護措置を講じ、積極的な活用を推進する。 ・歴史的風致の核となる建造物は、歴史的風致形成建造物に指定し適切な保護措置を講じ、修理費等を支援するとともに、積極的な活用を推進する。
計画に記載している課題	<p>(1)歴史的建造物の保全と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物の多くは、修理や修復に多額の費用を要するため、適切な維持管理が行われず老朽化している。 ・特に未指定文化財は、維持管理が行われないまま急速に老朽化が進んでいる。 ・多くの歴史的建造物が活用されず空き家となっている。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③善光寺経蔵保存修理事業 H25～28年度の4年間、経蔵修理工事費を助成した。 ◇実施内容:耐震診断、構造体の破損状況調査、実施設計、揚屋工事、基礎工事、地盤補強工事、屋根及び小屋組み解体工事、屋根工事、建具工事</p> <p>③景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域) H26～28年度の3年間、景観重要建造物2件の茅葺屋根修理費を助成した。</p> <p>③善光寺本堂耐震補強事業(H28年度完了) H26～28年度の3年間、施主により善光寺本堂耐震補強工事が行われた。 ◇実施内容:文化庁と補強工事内容を協議、小屋組みクサビ締め直し、天井板の落下防止</p> <p>③歴史的風致形成建造物修理助成事業 H26～28年度の3年間、歴史的風致形成建造物修理工事費の助成等を実施した。 ◇実施内容:戸隠地区の歴史的建造物4件を歴史的風致形成建造物に指定し所有者と一般公開に関する協定を締結、このうち3件の茅葺屋根修理費等を助成</p> <p>③寺町商家(旧金箱家住宅)保存整備事業(H26年度完了) H25～26年度の2年間、寺町商家の保存修理工事等を実施した。 ◇実施内容:主屋及び北之蔵、表門、離れ、質蔵、学問所、庭園の保存工事、整備後の利活用を図るための設備(電気・機械等)整備、工事見学会を2回開催(H25 参加者82名 H26 参加者100名)、利活用に関して地元団体等との意見交換(H26 ワークショップ8回)</p> <p>③旧横田家住宅保存整備事業 H27～28年度の2年間、旧横田家住宅の保存整備に向けた現状調査を実施した。 ◇実施内容:目視調査、実測調査、地盤調査、構造診断図、耐震補強案等の作成</p> <p>③旧文武学校保存整備事業 H25～28年度の4年間、旧文武学校修理工事等を実施した。 ◇実施内容:保存修理工事(文学所、槍術所)、耐震診断及び実施設計(弓術所、柔術所、剣術所、東序、西序等)、解体工事:東序東側土堀、工事見学会を2回開催(H25 参加者94名、H26 参加者109名)</p>

- ③史跡大室古墳群アクセス道路整備調査検討事業(H26年度完了)
H25～26年度の2年間、古墳群までのアクセス道路整備実施に向けた調査等を実施した。
◇実施内容:地元との協議、基本ルート案の基本合意確認、概略設計
- ③大室古墳群アクセス道路整備事業
H28年度に古墳群アクセス道路整備実施に向けた地元委員会との協議(9回)及び地権者等への説明会(1回)を実施した。
- ③県宝大英寺本堂保存修理事業
H26～28年度の3年間、本堂修理工事費の助成等を実施した。
◇実施内容:歴史的風致形成建造物に指定、所有者と一般公開に関する協定を締結、実施設計、基礎工事、半解体工事、覆屋設置、屋根の木部の修理ならびに瓦の葺き替え、内壁・外壁の修理
- ③県宝長国寺開山堂保存修理事業
H27～28年度の2年間、開山堂修理工事費を助成した。
◇実施内容:実施設計、覆屋設置、屋根瓦取り外し、木部修理、ビニールシート設置、覆屋取り外し
- ③県宝林正寺本堂保存修理事業
H27～28年度の2年間、本堂修理工事費を助成した。
◇実施内容:実施設計及び覆屋設置費用を助成
- ③史跡松代城跡保存整備調査研究事業(H25年度完了)
H25年度に史跡松代城跡の史跡エリア拡大及び保存整備に向けた遺構確認調査を実施し、外堀や三日月堀などの城郭遺構を確認した。
- ③史跡松代城跡保存整備事業
H27～28年度の2年間、史跡追加指定範囲の公有地化等を実施した。
◇実施内容:用地測量、補償費調査、境界立会い、不動産鑑定、用地買収(13筆、6,290㎡)、「史跡松代城跡整備専門家会議」の開催(2回)
- ③松巖寺観音堂保存修理事業(H26年度完了)
H25～26年度の2年間、観音堂修理工事費を助成した。
◇実施内容:歴史的風致形成建造物に指定、所有者と一般公開に関する協定を締結、建物基礎工事、木工事、居直し、外構工事、屋根工事、左官工事、建具工事、彫刻補修
- ③松巖寺経蔵保存修理事業
H28年度に経蔵修理工事費を助成した。
◇実施内容:外壁及び内壁の修理、外部雨落ち内側の犬走り土間及び内部土間叩き、屋根の葺き替え(鉄板葺きから銅板葺きへ)
- ④文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について
H25～28年度:松代地区では、国史跡松代城跡附新御殿跡の区域が追加指定され、歴史的建物調査により7箇所20件が登録有形文化財に、3箇所の庭園が登録記念物(名勝地)に登録された。戸隠地区では、戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査を実施し、戸隠神社中社・宝光社周辺の73.3haを伝統的建造物群保存地区に決定した。
- ④文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について
H25～28年度:指定文化財の保存修理(9件)及び耐震診断(2件)、歴史的風致形成建造物の指定6件を実施した。
- ④文化財の防災に関する取り組みについて
H25～28年度:国・県指定文化財 年2回、市指定文化財 年1回、善光寺・松代城跡などの文化財施設において「文化財防火デー」を中心とした防火放水・避難訓練、文化財愛護に関する普及啓発を実施した。
- ④文化財の保存及び活用の普及、啓発について
H25～28年度:寺町商家、旧文武学校、旧松代藩鐘楼、善光寺経蔵で保存修理の現場公開を行った。(参加者合計:約1,150名)

方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容
(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)

○指定文化財、景観重要建造物の保全
指定文化財9件及び景観重要建造物2件の修理又は修理費助成を実施し、歴史的建造物の保全を図った。



○指定文化財の保全と活用
空き家となっていた歴史的建造物 寺町商家(旧金箱家住宅)を、H24年に市有地化及び市指定文化財に指定し保存整備工事を実施するとともに、市民ワークショップを開催し、地元の農産物や郷土料理を提供するコミュニティレストランや地元工芸品を展示・販売できるギャラリーとして可能な限り市民等の意見を取り入れた文化財施設として活用した。



コミュニティレストラン開店時の様子



「ひだまり市」開催の様子

○未指定文化財の保全と活用
歴史的風致形成建造物を4件指定(指定文化財2件を除く)し、3件の修理費を助成するとともに、所有者と一般公開に関する協定を締結し、歴史的建造物の保全と活用を図った。



達成状況の評価、要改善事項

- 想定通り効果が発現している
- 今後発現が予想される
- 要対策検討
- 現段階では判断できない

(要改善事項)

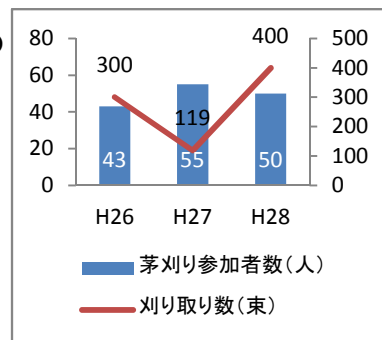
計画見直しの必要性

- 計画の見直しが不要
 - 計画の見直しが必要
- (見直しの理由・方針)

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成25年度 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	(2)伝統技術の継承 ・伝統的建造物群保存地区制度や文化的景観制度を活用し、伝統技術を活用した仕事の場を提供する。 ・住民や職人等と連携して、伝統技術を継承するための仕組みをつくる。
計画に記載している課題	(2)伝統技術の継承 ・歴史的建造物を修理・修復するための伝統的技術が急速に失われている。 ・歴史的建造物を維持するため、屋根材に使用する茅場の整備とそれを支える伝統技術の継承が必要である。
対応する進捗評価項目とその推移	③戸隠茅場整備事業 H26～28年度の3年間、戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会主催で、戸隠スキー場中社ゲレンデに自生する、屋根材となる茅の刈り取りが実施された。 ◇実施内容：年2回茅の刈り取りを実施(刈り取り数：H26 300束、H27 119束、H28 400束)(参加者数：H26 延べ43人、H27 延べ55人、H28 延べ50人)
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>戸隠地区において茅葺屋根の茅材確保のために実施している茅刈りへの参加者数はほぼ横ばいだが、参加者の刈り取り技術の向上等により、刈り取り数は増加している。</p> <p>しかし、地区内の茅葺建物の葺替えに必要な量を安定して確保するまでには至っていないことから、今後も引き続き、住民や職人と連携し、更なる仕組みづくりを進める。</p> <p>また、戸隠伝統的建造物群保存地区及び保存計画が決定したため、今後、建造物の修理・修景事業により、伝統技術を活用した仕事の場が提供されることが期待される。</p>
達成状況の評価、要改善事項	<input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない (要改善事項)
計画見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)



評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
<p>計画に記載している方針</p>	<p>(3)歴史的まちなみと周辺環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなみや景観に関する調査研究を行うとともに、住民の理解と協力を得て、伝統的建造物群保存地区や文化的景観の制度を活用し歴史的まちなみの保全に取り組む。 ・良好な景観形成を行うことを目的に組織された協議会等に対する支援を行う。 ・電柱電線類地中化・移設、道路美装化を推進する。 ・歴史的まちなみへのアクセス駐車場を整備するなど、歴史的まちなみに流入する自動車交通の抑制対策を検討する。
<p>計画に記載している課題</p>	<p>(3)歴史的まちなみと周辺環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き地や駐車場化により、歴史的まちなみの連続性が喪失。 ・歴史的まちなみへのアクセス駐車場が不足している。 ・歴史的建造物が多数集積する地域は、道路幅員が狭く歩道が無いため、歩行者がゆったりと歩けない。 ・旧長野電鉄屋代線の廃線により自動車通行量の増加が懸念される。また、旧駅舎や線路跡は、歴史的建造物の利活用を踏まえた活用方法を検討しなければならない。
<p>対応する進捗評価項目とその推移</p>	<p>②長野市景観計画との連携 H25～28年度の4年間、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観誘導の検討や、現行の「長野市景観計画」に基づく新築・増築・改築等の届出により高さや色彩等について指導した。 ◇実施内容:担当部局との協議7回(H27 4回、H28 3回)、景観計画に基づく行為の届出21件(H25 7件、H26 6件、H27 6件、H28 2件)</p> <p>②長野市屋外広告物条例との連携 H25～28年度の4年間、地域の特性に応じたよりきめの細かい広告物規制の検討や、現行の「長野市屋外広告物条例」に基づく広告物設置等の届出により表示面積等を指導した。 ◇実施内容:担当部局との協議6回(H27 4回、H28 2回)、条例に基づく広告物設置等の届出時に指導</p> <p>②長野市伝統環境保存条例との連携 H25～28年度の4年間、伝統環境保存区域内において施主が建造物の新築・増改築を行う場合に届出義務を課し、歴史的景観の保全を図った。 ◇実施内容:届出件数29件:(H25 13件、H26 4件、H27 7件、H28 5件)</p> <p>③歴史的資源活用コーディネーター派遣事業 H26～28年度の3年間、地元の要望を受け有識者を派遣した。 ◇実施内容:派遣人数…鬼無里地区1人、善光寺周辺地区1人、戸隠地区4人</p> <p>③善光寺周辺地域道路美装化事業 H25～28年度の4年間、善光寺周辺道路の石畳舗装を実施した。 ◇道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済みL=489m/計画延長L=1,094m(進捗率44.7%)</p> <p>③善光寺周辺地域電線類地中化事業 H25～28年度の4年間、善光寺周辺道路の電線類地中化を実施した。 ◇電線類地中化総延長(計画期間累計) 実施済みL=540m/計画延長L=790m(進捗率68.4%)</p>

	<p>③中央通り歩行者優先道路化事業(H26年度完了) H25～26年度の2年間、中央通り(善光寺表参道)の石畳舗装及び歩道拡幅を実施した。 ◇実施延長(計画期間累計) L=380m(進捗率100%)</p> <p>③善光寺表参道地域交流拠点整備事業 H26～28年度の3年間、地元住民や来訪者のための地域交流拠点化に向けた調査や交渉を実施した。 ◇実施内容:事業予定地の面的整備に係る計画調査、用地取得のための交渉を15回実施(H27 5回、H28 10回)</p> <p>③まちづくり協議会活動助成事業(H27年度完了) H25～27年度の3年間、良好な町並み形成の検討を行うために組織された戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会の活動費を助成した。 ◇活動内容:勉強会、シンポジウム、意見交換会、先進地視察、広報発行等</p> <p>③松代地域道路美装化事業 H25～28年度の4年間、松代城下町の道路美装化(石畳風舗装)を実施した。 ◇実施状況:道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済みL=330m/計画延長L=600m(進捗率55.0%)</p> <p>③旧松代藩鐘楼広場整備事業(H25年度完了) H25年度に旧松代藩鐘楼広場(A=757㎡)の整備を実施した。 ◇実施内容:敷地造成、ブロック塀撤去、板塀設置、植栽選定、トイレ棟設置</p> <p>③小鮎川改修事業(H25年度完了) H25年度に旧松代藩鐘楼広場付近のコンクリート水路を石張りの水路に修景した。 ◇実施延長(計画期間累計)L=17m(進捗率100%)</p> <p>③伝統環境保存事業 H25～28年度の4年間、伝統環境保存区域内の歴史的建造物修理費を助成した。 ◇実施内容:助成件数5件(H25 1件、H26 1件、H27 2件、H28 1件)</p> <p>③松代城跡東側駐車場整備事業 H25～28年度の4年間、史跡松代城跡保存整備事業と調整しながら、アクセス駐車場整備の検討やイベント時の活用等を実施した。 ◇実施内容:碎石舗装(暫定)、善光寺御開帳シャトルバス発着場や真田十万石祭り臨時駐車場及び各種イベント会場として活用</p> <p>③北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業 H25～28年度の4年間、北国街道松代道周辺の回遊性向上に向けた自転車道・遊歩道建設工事を実施した。 ◇実施状況:自転車道・遊歩道整備総延長(計画期間累計) 実施済みL=約0.5km/計画延長L=約9.8km(進捗率5.1%)</p>
<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>○伝統的建造物群保存地区制度の導入 戸隠中社・宝光社地区では、「戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会」を中心に、専門家の協力を得ながら伝統的建造物群保存地区に関する勉強会等を実施した結果、地元で歴史を活かしたまちづくりを推進する機運が高まり、伝統的建造物群保存地区及び保存計画決定が実現した。(H28.8月)。 今後、伝統的建造物群保存地区制度を活用し歴史的まちなみの保全に取り組んでいく。</p>

	<p>○電線類地中化・道路美装化による歴史的まちなみ景観の保全 善光寺周辺地域6路線の電線類地中化及び道路美装化(石畳舗装)、中央通り(善光寺表参道)1路線の道路美装化(石畳舗装)及び歩行者優先道路化、松代地域3路線の道路美装化(石畳風舗装)を実施し、歴史的まちなみ景観の保全が図られた。中央通りは、まちなみ景観が向上したことで「善光寺花回廊」、「弥栄神社の御祭礼屋台巡行」、「善光寺御開帳2015日本一の門前町大縁日」、「長野びんずる」その他多くのイベントに活用された。 ◇電線類地中化実施延長L=540m／計画延長L=790m ◇道路美装化実施延長L=1,199m／計画延長L=2,074m</p> <p>電線類地中化・道路美装化(仁王門通り)</p>  <p>中央通り道路美装化・歩行者優先道路化(中央通り)</p>  <p>善光寺花回廊開催の様子(中央通り)</p> 
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p>■想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p>■計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	(4)伝統的な祭礼等の継承 ・地域住民や専門家等と連携し、伝統的な祭礼等の内容や特色、実施日等の把握を行い、担い手の確保や育成等に取り組む。 ・子ども達が伝統的祭礼に触れる場を提供するため、学校教育や育成会などと協力した地域ごとの取組みを支援する。
計画に記載している課題	(4)伝統的な祭礼等の継承 ・伝統的な祭礼等は、近年の人口減少や少子高齢化のため担い手が不足している。とりわけ、中山間地では担い手不足が深刻な状況である。
対応する進捗評価項目とその推移	③無形文化財支援事業 H25～28年度の4年間、無形文化財及び無形民俗文化財を保持する3団体(宣澄踊り保存会、箏曲八橋流保存会、大門踊保存会)の活動費を助成した。 ③弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業 H25～28年度の4年間、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立、解体及び補修費を助成した。 ◇実績:屋台の組立、解体及び補修費助成…30件
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	計画どおりに3つの無形文化財及び無形民俗文化財の保持者又は保持団体、弥栄神社の御祭礼巡行屋台に対して活動費等を助成し、伝統的祭礼の継承が図られた。今後、指定無形文化財等以外の伝統的祭礼の継承を図るため、次年度から「伝統芸能継承事業」を計画に寄与する事業に位置づけ、伝統芸能の継承や特色のある地域づくりを推進していく。 また、少子高齢化による祭礼の担い手不足解消を図るため、次年度から「空き家バンク事業」を計画に寄与する事業に位置づけ、コミュニティの維持による伝統的祭礼の継承を推進していく。
達成状況の評価、要改善事項	<input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない (要改善事項)
計画見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>(5)文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光や情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の所有者や関係団体と連携し、文化財や歴史的風致の価値や魅力を引き出すことを意図した情報発信を積極的に行い、文化財を活かした観光振興に繋げる。 ・歩行者用案内板や説明版を整備し、歩行者環境を充実させるためのルートづくりを行う。
計画に記載している課題	<p>(5)文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光や情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財や伝統的祭礼の情報発信が不足している。 ・歴史的建造物や歴史的まちなみへの案内や誘導が不足している。また、それらを結ぶ歩行者空間が確保されていない。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③戸隠古道現状調査事業(H27年度完了)</p> <p>H25～27年度の3年間、戸隠古道の現状調査及び案内板整備を実施した。</p> <p>◇実施内容:石標・丁石・案内板の設置、種類等の調査、案内板16基整備</p> <p>③松代町文化財保存活用推進事業</p> <p>H25～28年度の4年間、文化財ボランティアによるガイド活動や市民ワークショップの開催等を実施した。(案内ガイド人数…H25 32,827人、H26 30,507人、H27 46,269人、H28 67,604人)また、真田宝物館の設置場所も含めた、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を実施した。さらにH27～28年度は、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送を機に、真田家の実像を体感する特別イベント「信州松代真田大博覧会」を実施した。</p> <p>③旧松代駅舎保存活用事業</p> <p>H25～28年度の4年間、松代城跡保存整備事業と調整しながら、駅舎の活用方針決定に向けて庁内検討5回(H26 3回、H27 1回、H28 1回)及び地元協議5回(H26 1回、H27 2回、H28 2回)を実施した。また、H28年4月から12月まで、臨時観光案内所として地元で使用した。</p> <p>③旧信濃川田駅舎保存活用事業</p> <p>H25～28年度の4年間、駅舎の耐震診断やトイレ整備を実施し、バスの待合所として暫定的に使用した。また駅舎の活用方針決定に向けた地元協議を9回(H25 3回、H26 2回、H27 2回、H28 2回)実施した。</p> <p>③松代歴史文化の発信・誘客事業</p> <p>H25～28年度の4年間、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っているNPO法人「夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動費を助成した。</p> <p>◇活動実績:松代学講座(年6回)、まち歩きツアー(年17回)、まち歩きセンター運営、まちづくりシンポジウムの開催等</p> <p>③川田宿PR活用事業</p> <p>H26～28年度の3年間、川田宿ガイドの会により川田宿の歴史的町並みや伝統文化がPRされた。</p> <p>◇活動実績:ガイドマップの作成・配布、案内ガイド実施(22回、見学者534人に対応)、現地研修会5回、マップスタンドを3箇所設置、月例学習会(月第2火曜日)実施</p>

	<p>③「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業 H25～28年度の4年間、「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台の保存・活用及び木地を生かした「一木彫り」による優れた技術の情報発信を行った。</p> <p>◇実施内容：毎年5月3日の鬼無里神社祭礼において屋台巡行実施、専門業者による現状診断、(公財)長野コンベンションビューロの企画によるバスツアー参加者の屋台巡行参加、鬼無里ふるさと資料館HPの充実、屋台に関するギャラリートーク実施、チラシの作成</p> <p>③鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業 H25～28年度の4年間、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を実施した。</p> <p>◇実施内容：地区主導で地域の伝統的祭礼や文化財を活用した体験型ツアーの企画・実施(11回)、鬼無里神社・諏訪神社・白髭神社の祭礼に関する映像記録、ガイドマップの作成、「いいとき観光推進協議会」によるPR誌「いいとき、いいところ」の発行、「鬼無里神社と屋台の巡行」の発行・配布、ホームページによる情報発信</p>										
<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>松代地区では、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送に併せ、H28年1月27日～12月12日の間、地元団体との協働により、真田宝物館、松代城跡、真田邸、文武学校において、地域の文化財を活用し真田家の実像を体感する特別イベント「信州松代真田大博覧会」を開催した結果、松代地区の主要文化財施設入場者数が大幅に増加した。</p> <div data-bbox="938 757 1372 1120" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>年度別松代地区主要文化財施設入場者数(千人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入場者数(千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>488</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>491</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>757</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,074</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	入場者数(千人)	H25	488	H26	491	H27	757	H28	1,074
年度	入場者数(千人)										
H25	488										
H26	491										
H27	757										
H28	1,074										
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p>■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>										
<p>計画見直しの必要性</p>	<p>■計画の見直しが不要 □計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>										

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	(6)歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究 ・地域住民の協力を得ながら、歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等について、近年合併した地域も含め長期的視点から総合的な調査を継続的に実施する。
計画に記載している課題	(6)歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究 ・これまでの歴史的建造物やまちなみ調査は散発的なもので、調査が不足している。特に近年合併した地域では、歴史的建造物や伝統的な祭礼等を対象とする調査が行われていない。
対応する進捗評価項目とその推移	③戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業(H27年度完了) H26～27年度の2年間、戸隠神社中社・宝光社周辺の伝統的建造物群保存地区決定に向けて、地域の伝統的な宿坊建築を中心に調査を実施した。 ◇実施内容: 築50年を経過した建築物のうち38件の調査、工作物(石垣・石造物)及び環境物件(水路)の分布調査、神社建築の建物調査(5件)、保存対策調査報告書の刊行 ③松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業(H26年度完了) H25～26年度の2年間、地区に残る歴史的建造物や庭園・泉水路の現況について詳細調査を実施し、価値の高い建造物等について文化財の登録制度を積極的に活用した。 ◇実施内容: 伝統的建造物や庭園等の悉皆調査、国登録文化財候補物件としての詳細調査、調査報告会やシンポジウムの開催、調査報告書の刊行
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査の実施により、戸隠中社・宝光社地区における歴史的町並みを把握した結果、戸隠神社中社・宝光社周辺の伝統的建造物群保存地区決定が実現した(H28.8月) また、松代城下町歴史的建造物・庭園調査の実施により、松代地区に残る歴史的建造物や庭園・泉水路の現況把握及び価値の高い建造物等について文化財の登録制度を積極的に活用した結果、国登録文化財(建造物)5箇所14件、国登録記念物(名勝地)3箇所が新たに登録された。
達成状況の評価、要改善事項	■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない (要改善事項)
計画見直しの必要性	■計画の見直しが不要 □計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)

評価対象年度 平成25年度～ 28年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み①: 善光寺周辺地域道路美装化事業

(取り組み概要)

仲見世及び宿坊群で構成され善光寺門前に位置する、釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り及び阿闍梨池通り(一部)について、道路美装化(石畳舗装)を実施し、善光寺門前の良好な景観形成及び回遊性の向上を図った。

◎平成28年度までの実績:実施済みL=489m/計画延長L=1,094m(進捗率44.7%)

- ・平成25年度 地元協議(石畳舗装の仕様を決定)
- ・平成26年度 道路美装化 長野北576・97号線(仁王門通り・釈迦堂小路)L=130m
- ・平成27年度 道路美装化 長野北95・94号線(法然通り・羅漢小路)L=169m
長野北98号線(釈迦堂通り)L=72m
- ・平成28年度 道路美装化 長野北98号線(釈迦堂通り)L=60m
長野北99号線(阿闍梨池通り)L=58m

整備前(法然通り)



整備後



(自己評価)

道路美装化(石畳舗装)の実施にあたっては、地元まちづくり協議会と協議を重ね、民意の反映に努めながら事業を進め、善光寺門前の良好な景観形成を図るとともに、十数箇所に地元の伝承に因んだ3種類のデザイン石を設置し、観光客等の回遊性向上を図った。善光寺仁王門前では、歩行者通行量が増加傾向にあり、回遊性が向上している(評価軸⑥-1参照)。これまで、仁王門通り、法然通り、釈迦堂通り及び阿闍梨池通り(北側)の道路美装化が完了した。

次年度以降も引き続き、阿闍梨池通り(南側)、長野北96号線、御幸坂通り、長野北236号線(歩道部)の道路美装化を実施し、善光寺門前の良好な景観形成及び回遊性向上を図る。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等): 大上 俊之(長野市景観審議会委員、信州大学工学部教授)

・外部評価実施日: 平成29年1月25日

・有識者コメント

善光寺周辺道路の石畳舗装実施により、以前に比べ歴史的街なみ景観が良好になった。共同溝や下水道等のマンホール蓋の多くを石畳舗装と調和させた蓋に修景したことは評価できる。一部のマンホール蓋やカーブミラーが、周囲の景観に調和していないため、改善すべきである。

側溝スリットの色が目立ち、周囲の景観に調和していないため、工夫してほしい。

地元の伝承(牛に引かれて善光寺参り)や、伝承にちなみ設置したデザイン石に関して、観光客等の認知度は低いのではないかと。案内板の設置等により、伝承やデザイン石に関する情報を発信したり、院坊通りの角などの入り口に観光客を誘導するためのインパクトがある施設があると、通りを歩く人が増加すると思う。

(今後の対応方針)

周囲の景観と調和していないと指摘があったマンホール蓋は石畳化粧対応型に、またカーブミラーについては、更新時に周囲と調和した環境色(茶系)に交換または塗装する等、それぞれ管理者と協議し、可能なものから対応していく。

善光寺周辺道路における回遊性の向上と情報発信の方法については、地元協議会等と協議検討していく。

評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
代表的な取り組み②:旧文武学校保存整備事業	
(取り組み概要)	
<p>松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で平成23年度より保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を平成31年度末完了予定で行なっている。</p>	
<p>主な経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25～26年度 文学所・文庫蔵保存修理工事 ○平成27年度 槍術所保存修理工事 ○平成28年度 東序東側土塀解体保存工事 	
H26 文学所工事状況	H27 槍術所工事見学会状況
(自己評価)	
<p>これまで文学所・槍術所について保存修理工事を行った。工事期間中は貴重な文化財の内部構造を見ることができるために一般向け、隣接する小学校、公民館の見学会などを開催して、文化財保護に関する周知を行った。特に、隣接する松代小学校とは資料調査から始まり、授業等での文武学校の活用、工事見学など相互協力を行っており、身近な文化財の理解を深めることができている。平成29年度からは、建造物の修理工事が本格的に始まるために、工事見学会や印刷物の配布などを通して文武学校や文化財の価値についてより理解を深めるように活動していきたいと考える。</p>	
(外部評価)	
・外部有識者名(役職・肩書き等):多田井 幸視(長野市地方文化財保護審議会委員)	
・外部評価実施日:平成29年1月20日	
・有識者コメント	
<p>剣術所や武術所は、実際に剣道や武道をしている市民が活用しており、人の匂いがする使われ方をしているのは評価できる。しかし、文学所については、人の匂いがするような活用事例がないので、検討していただきたい。</p>	
<p>文学所は、見学する人がかつての姿を想像できるように、実際に講義に使われた机を展示する等の工夫が必要である。佐久間象山と文武学校との関係をもっとPRしたほうがいい。前庭も活用できないか検討していただきたい。</p>	
<p>文武学校は、長野県の学校の元祖である。教育関係において文武学校をもう少し大事に考えて、例えば年に1回文学所で大学の講義をする等を実施できないか。</p>	
<p>案内板が少ない。スマートフォンを活用した案内ガイド等を検討していただきたい。</p>	
<p>公民館で実施している、地元住民に地元の文化財の価値を知っていただく取り組みは評価できる。文化財を後世に継承していくためには、このような取り組みをさらに推進していくことが必要である。</p>	
<p>平成28年は、NHK大河ドラマ「真田丸」の影響で多くの観光客が訪れたが、これからの集客対策を考えるべきである。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>現在進めている旧文武学校保存整備事業では、建造物の活用の他にも松代藩校としての歴史や特徴、廃藩以後の学校施設としての歴史についても紹介する展示も計画している。ただし、博物館のようなガラスケースやパネルを多用することは、文武学校の雰囲気損ねることになるので、必要最小限の説明パネルとともにスマートフォンなどの活用を検討して行きたい。</p>	
<p>長野市の教育の歴史における文武学校の位置づけについても、広く紹介できるように努めて行きたい。</p>	

評価対象年度	25年度～ 28年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
代表的な取り組み③:「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業	
<p>(取り組み概要)</p> <p>市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信 長野市立博物館 鬼無里ふるさと資料館の特設ページにて、屋台の特徴、魅力等を紹介している。 長野市教育委員会の文化財データベースにて、屋台の文化的な価値等を解説している。 ・鬼無里ふるさと資料館における公開 鬼無里ふるさと資料館において、4台の屋台(山車)と2台の神楽(太神楽)を展示・公開している。開館期間中は職員が常駐しており、常時、解説を受けることも可能で、館内では屋台のガイドブックの販売も行っている。 ・鬼無里神社春祭りにおける活用 毎年5月鬼無里神社春の例大祭において、「彫工北村喜代松」制作の屋台を活用し、屋台巡行が行われている。小・中学生からお年寄りまで多くの住民が曳き手となり、鬼無里公民館から鬼無里神社までの約500mを、2時間かけて巡行する。また、屋台には踊り子が乗り、ところどころで舞踊を奉納する。 また、専門家により、巡行する屋台の状態を確認し、特に大きな修理等は必要ないことを確認した。 <div data-bbox="944 815 1388 1137" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">鬼無里神社春の例大祭における屋台巡行</p>	
<p>(自己評価)</p> <p>鬼無里神社春祭りにおいて、屋台巡行が行われ、一木彫りなど優れた技術を身近に触れられる貴重な機会のひとつとして活用されており、市民や来訪者の歴史や文化に対する意識の向上が図られている。</p> <p>しかし、ホームページの内容は十分とは言えず、更なる充実が必要である。</p>	
<p>(外部評価)</p>	
<p>・外部有識者名(役職・肩書き等): 多田井 幸視(長野市地方文化財保護審議会委員)</p>	
<p>・外部評価実施日: 平成28年12月13日</p>	
<p>・有識者コメント</p> <p>資料館に展示されている屋台を地元の祭りの際、実際に出して活用していること自体が貴重なことで評価できる。</p> <p>今後は、実際に曳き手としてして祭りに参加している次代を担う地元小・中学生を中心に、この価値を認識してもらえるよう、総合的な学習の場に活用できないか。</p> <p>また、車社会となった現代は、山間地で、不便という印象があるが、人馬の時代は、森林資源も豊富で、換金資源があり、豊かな立地条件だったということが、現在まで屋台を残せた背景にあると思う。そういった背景や鬼無里地区以外に残る北村喜代松の彫りもの等も含めてPRできないか。</p> <p>ホームページの内容については更なる充実を図るほか、鬼無里地区住民自治協議会とも連携し、情報発信を検討してみてもどうか。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>まずは、鬼無里地区住民自治協議会とも連携し、ホームページの内容の更なる充実を図る。</p> <p>また、地元鬼無里小学校、中学校と連携し、歴史的な背景とともに優れた技術が施された屋台が受け継がれてきたことを身近に感じ、地元を誇りを持つような取組みを検討する。</p>	

評価対象年度 平成28年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 長野市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)

会議等の開催日時: 平成29年2月17日(金) 13:30~

(コメントの概要)

- 平成13年度の実施から、今年度15年ぶりに実施した屋台状況調査結果で、この15年間で処分された屋台があることや、地元の町の多くに曳き手不足等の課題があることが判明した。御祭礼の継承を図るため、屋台巡行参加者が集まり、工夫している点等を話し合うようなシンポジウムを開催する等の取組みを市で実施できないか。



(今後の対応方針)

- 市はこれまで屋台の組立て・補修費等を支援してきたが、市としても何が出来るか考えていく必要がある。御祭礼関係各町が抱える課題の解消のため、御祭礼の実行委員会や地元と協議し、シンポジウムの開催等を検討していく。